

各 位

上場会社名	イーター電機工業株式会社
代表者	代表取締役社長 北川 浩
(コード番号)	6891)
問合せ先責任者	取締役管理本部長 山本 浩之
(TEL)	03-3745-6740)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,230	82	42	30	3.59
今回発表予想(B)	3,449	△3	△84	△47	△5.65
増減額(B-A)	219	△85	△126	△77	
増減率(%)	6.8	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	4,169	△88	△167	△239	△28.66

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,668	289	197	161	19.24
今回発表予想(B)	6,977	284	136	100	11.95
増減額(B-A)	309	△5	△61	△61	
増減率(%)	4.6	△1.7	△31.0	△37.9	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	7,605	△333	△454	△544	△65.10

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,465	96	54	50	5.98
今回発表予想(B)	1,736	51	△28	△25	2.99
増減額(B-A)	271	△45	△82	△75	
増減率(%)	18.5	△46.9	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	2,126	△141	△223	△256	△30.71

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,064	253	185	178	21.28
今回発表予想(B)	3,480	185	150	147	17.57
増減額(B-A)	416	△68	△35	△31	
増減率(%)	13.6	△26.9	△18.9	△17.4	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	3,819	△362	△455	△522	△62.47

修正の理由

1. 連結業績について

(1) 第2四半期連結累計期間業績

営業利益

売上高につきましては、当初予想よりも219百万円の増収となりました。当社グループの主要な事業領域である電子機器関連事業において、売上高が271百万円の増収となりましたが、製造部門において、原材料費は当初予定より130百万円減額となったものの、今期の課題として外注加工費抑制の為に協力工場の統合を推し進めておりました弊害として、予定生産量が確保できない状況が一時的に発生したことにより、在庫調整の為に負荷が生じてしまい、当初予定より製造原価が45百万円上回る結果となりました。また、他の事業部門においては、景気の低迷を反映し、売上高が伸び悩むとともに、個々の市場におけるコスト競争が激化してきたことにより、収益性が低迷する結果となりました。この結果、当初予想の営業利益82百万円を営業損失3百万円に修正いたしました。

経常利益

営業利益の減少に加え、為替差損の計上等により、当初予想の経常利益42百万円を経常損失84百万円に修正いたしました。

四半期純利益

経常利益の減少により、当初予想の四半期純利益30百万円を四半期純損失47百万円に修正いたしました。

(2)通期業績

営業利益

現状において受注の増加傾向が継続しており、今後の売上高については増収が見込まれます。また、当第2四半期連累計期間において発生した収益圧迫の要因については、すでに対応策を講じており通期中において改善・解決すると見込んでおります。通期見通しについては、当初予想の営業利益289百万円を営業利益284百万円に修正いたしました。

経常利益

営業利益の減少により、当初予想の経常利益197百万円を経常利益136百万円に修正いたしました。

当期純利益

経常利益の減少により、当期純利益161百万円を当期純利益100百万円に修正いたしました。

2. 個別業績について

(1)第2四半期個別累計期間業績

営業利益

売上高につきましては、堅調に推移した結果、当初予想よりも271百万円の増収となりました。しかしながら、製造部門において、原材料費は当初予定より130百万円減額となったものの、今期の課題として外注加工費抑制の為に協力工場の統合を推し進めておりました弊害として、予定生産量が確保できない状況が一時的に発生したことにより、在庫調整の為に負荷が生じてしまい、当初予定より製造原価が45百万円上回る結果となり、当初予想の営業利益96百万円を営業利益51百万円に修正いたしました。

経常利益

営業利益の減少に加えて、為替差損の計上等により、当初予想の経常利益54百万円を経常損失28百万円に修正いたしました。

四半期純利益

経常利益の減少により、当初予想の四半期純利益50百万円を四半期純損失25百万円に修正いたしました。

(2)通期業績

営業利益

現状において受注の増加傾向が継続しており、今後の売上高については増収が見込まれます。また、当第2四半期個別累計期間において発生した収益圧迫の要因については、すでに対応策を講じており通期中において改善・解決すると見込んでおります。通期見通しについては、当初予想の営業利益253百万円を営業利益185百万円に修正いたしました。

経常利益

営業利益の減少により、当初予想の経常利益185百万円を経常利益150百万円に修正いたしました。

当期純利益

経常利益の減少により、当期純利益178百万円を当期純利益147百万円に修正いたしました。

(注)上記業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因により、この業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

以上